



新年あけましておめでと〜ございませす。平成十七年の新春にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年、七月に大水害が、そして十月には突然の大地震が中越地方を襲い、かつてない被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様にご心からお見舞いを申し上げます。

さて、私が市政を担当いたしました期間は、ちょうど新津市第三次総合開発計画の後期基本計画期間と重なります。市制施行五十周年の年からスタートしたこの基本計画は、市政運営の最も基本的な指針として策定されたものです。

微力ながら、計画の実現に力を注いでまいりましたが、主な都市基盤につきましては、おおむね整備が終了し、あるいは見通しがついたのではないかと思っているところであります。市民の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

大きな飛躍を 市民とともに

これからは、新津市民が明確な形で示した将来の進むべき方向をしつかり受け止め、全力を尽くして、更なる発展に向けた道筋をつけなければならぬと思っております。二年後には、約八十万人を擁する政令指定都市が実現すると思えます。合併も政令指定都市移行も、その最終的な目標は行政システムを効率化し、産業を発展させ、市民の満足度を向上させることです。この八十万人市民が、それぞれの地域で培ってきた特色を自分たちの宝として共有し、全国に発信することになれば、政令指定都市の持つイメージと掛け合わせて大きな効果をもたらすこととなります。

新津市には、これまで築いてきた歴史や文化、産業に加えて、この大震災でもクローズアップされたコミュニケーションの力があがり、そして幅広く産業の発展に貢献すると注目されるパイオニア研究の基盤がつけられつつあります。このような新津の光を新しい枠組みの中で必ず輝かすことができると確信しております。

これからも皆様と一緒に積極的にまちづくりを進めてまいりますので、これまでと同様、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

新津市長

湯田 幸永



平成17年元旦 新年のあいさつ

新年明けましておめでと〜ございませす。

昨年は、七・三水害や度重なる台風の襲来、そして中越地震では三兆円近い甚大な被害と多くの尊い人命が失われる未曾有の大惨事に見舞われ、自然の猛威の前に人間の限界を痛感させられました。しかし、助け合いながら懸命に復興に向けて頑張っておられる被災者の皆さまの姿を見ると、胸に熱いものが込み上げてまいります。亡くなられた方々のご冥福と一日も早い復興を、心からお祈り申し上げます。

一方、アテネでオリンピックが開催され、日本人選手の活躍に国中が感動に包まれました。また、紀宮様のご婚約発表がなされ、宮様の笑顔で中越地震の被災地に明るさを、そしてすべての国民に元気を与えていただきました。心よりお喜び申し上げます。

さて、新津市は三月二十一日に新潟市と合併します。五十四年に及ぶ新津市の歴史が閉じられることに一抹の寂

新しい新津の まちづくりに向けて

しさを感ずるところであります。新・新潟市の中枢として、新津地域は一層の発展と市民福祉の向上が図られるものと確信しております。

合併は目標ではなく、将来のまちづくりへの通過点であります。日本海側の中核拠点となる田園型政令指定都市・新潟において、新津地域は阿賀野川や信濃川、そして緑豊かな丘陵と優良農地といった自然環境や、交通の利便性に恵まれております。また、バイオリサーチパークの研究を基にした、農地の有効活用や安全・安心な食料供給、花き花木産業の振興など、地場産業の育成が期待される、最も輝く素地を持つ地域です。

本年は、国の三位一体改革の下、厳しい財政状況の中で、地方の自立と自己責任が今以上に求められてきますが、合併を契機に市民一人ひとりが新津地域の将来像を共に考え、市民と行政、議会が一体となってまちづくりに取り組む節目の年となります。

輝く素地を磨き上げ、今まで培った伝統文化と新たな地域資源を融合させて、新しい新津が、そして新・新潟市が安心して暮らせる都市になればと願っております。

皆さまから一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

新津市議会議長

大泉 弘



市ほう賞式

まちづくりに 貢献した方を表彰

十一月二十三日、保健福祉センターで「市ほう賞式」が行われました。教育、文化、保健衛生の向上に尽くされた方や優れた技術で社会に貢献された方など、次の七十二名、一団体の方々が「ほう賞」を受けられました(敬称略・順不同)。



【市議会議員として10年以上在任された人】

- 古田穰(25年、朝日)
- 江口壯(25年、小戸下組)
- 内藤勇(25年、柄目木)
- 【市の執行機関としての委員会の委員もしくは委員として10年以上在任された人】
- 固定資産評価審査委員会委員
- 石塚正樹(10年、出戸)

【市の非常勤特別職に10年以上在任された人】

- 食生活改善推進員
- 萩原泰子(13年、中野1)
- 母子保健推進員
- 金子雅子(12年、美幸町2)
- 駒野ヨネ子(12年、新町2)
- 宮崎好美(12年、程島)
- 五十嵐恵美子(12年、金沢町1)

青少年指導員

- 佐々木豊(10年、善道町1)
- 明間宏巳(10年、東金沢)
- 稲垣学(10年、寛路津)
- 小川祐市(10年、古津)
- 土田徳来(10年、大関)
- 山田啓一(10年、金屋)
- 木下トミイ(10年、山谷町3)
- 南照(10年、山谷町3)
- 社会教育委員
- 吉井秀行(17年、山谷町1)
- 鈴木孟(15年、本町2)
- スポーツ振興審議会委員
- 鬼島基伸(18年、柄目木)
- 吉田紀子(18年、新栄町)
- 体育指導委員
- 笠原譲(10年、川口)
- 長谷川貴美子(11年、東町1)
- 【科学、芸術、技芸、教育など文化の向上に尽くされた人】
- 新津松坂協会の活動を通じ、芸術文化の向上に貢献
- 小林健二(新津)
- 田中昌愛(善道町1)
- 古俣要吉(五泉市)
- 片田秀男(新潟市)
- 荒木正直(南町)
- 細川興英(西古津)
- 坪谷雅一(滝谷町)
- 新津市文芸協会役員、同会長として芸術文化の向上に貢献
- 仙田善雄(金沢町4)
- 【保健衛生または体育の向上に尽くした人】
- 少年野球の指導者としてスポーツ振興に貢献
- 鹿間務(結)
- 渡邊稔(結)
- 伊藤三夫(こがね町)
- 平柳利章(車場3)
- 村上純夫(中野3)

健康面や安全面から少年野球を支えスポーツ振興に貢献

- 石川裕子(結)
- ジュニア陸上教室で青少年の指導にあたり、スポーツ振興に貢献
- 鶴巻良助(川根)
- 【道路、河川、公園その他公共施設の設置または維持管理に寄与した人】
- 地域内公園の環境美化、維持管理に貢献
- 酒井三直(朝日)
- 能代分流記念公園の環境美化、維持管理に貢献
- 草水町農家組合(草水町)
- 金屋運動広場の環境美化、維持管理に貢献
- 風間一二(北)
- 【災害事故、犯罪、交通その他社会不安の発生の防止もしくは除去または人名救助、財産保護に尽くした人】
- 薬物乱用追放運動の中心として、薬物乱用防止に貢献
- 澤田録郎(大鹿)
- 【産業の開発または振興に尽くした人】
- 伝統園芸植物の保存や増殖などを通じ、花産業発展に貢献
- 片岡充(出戸)
- 【社会福祉の増進に尽くした人】
- 新関地区のへき地保育所の所長として児童福祉の向上に貢献
- 中沢将(六郷)
- 小口保育所運営委員として児童福祉の向上に貢献
- 水谷清一(小口)
- 新津市身体障害者福祉協会の役員として障害者福祉の向上に貢献
- 大田浩(中村)
- 笠原三郎(北上2)
- 地域における介護予防事業に積極的に取り組む、高齢者福祉の向上に貢献
- 本間三男(市之瀬)

民生児童委員として社会福祉の向上に貢献

- 堀口一(車場5)
- 竹部セツ子(金沢町2)
- 大塚勇夫(朝日)
- 古田治(川根)
- 【その他市行政に積極的に協力援助した人】
- 社会福祉事業に資するため多額の寄付
- 中野スイ(萩島3)
- 統計調査員として市政の発展に貢献
- 井上敏子(本町4)
- 地方自治の高揚と発展に貢献
- 川田喜一郎(塩谷)
- 鷲尾三昭(車場5)
- 樋口三次郎(新町3)
- 井浦由夫(秋葉1)
- 【技能職業を通じて顕著な功績があった人】
- 建築大工
- 青木新一(東町1)
- 松澤悦夫(吉岡町)
- 渡辺勝(蕨曾根)
- 土田茂夫(大関)
- 鈴木和夫(小屋場)
- 吉田榮吉(大関)
- 美容師
- 吉田輝代(本町2)
- 龍澤邦子(田家2)
- 田中勝子(出戸)
- 理容師
- 石口怜(本町2)
- 時計修理技術職
- 高橋征治(本町4)
- 写真業
- 坂詰金治郎(草水町2)
- 家庭電気販売修理業
- 原山淳(本町4)
- 笠原三郎(北上2)
- 古俣豊作(下興野町)